

京都・亀岡保津川公園アートプログラム「人と自然の交差点」

野外アート作品コンペ

Art Sprout / アート・スプラウト



募集要項

目次

- 01_ コンペの趣 p01
- 02_ コンペの形式と審査について p02
- 03_ スケジュール p03
- 04_ 審査会 p04
- 05_ 応募規定 p05
- 06_ 応募書類 p07
- 07_ 応募方法 p08
- 08_ 作品展示会場地 p09
- 09_ 説明会 p11
- 10_ 質疑応答 p12
- 11_ 作品の取扱いについて p13

野外アート作品コンペ

Art Sprout

今秋、京都丹波エリアで開催される「全国都市緑化フェア in 京都丹波」を契機に京都・亀岡保津川公園で野外アート作品コンペ「Art Sprout(アート・スプラウト)」を実施します。本コンペでは、公園の魅力を引き立てる7つのアート作品を募集します。

作品の展示会場は、亀岡駅北に広がる、約14ヘクタールの農地・公園です。

この敷地内に、10m×10mの正方形の区画を整備し、各区画につき1作品、計7作品の屋外アートを展示します。なお、作品の募集区分は2部門とし、＜一般部門＞より3作品、＜学生部門＞より4作品を採択します。

募集テーマ：unearth

募集する作品のテーマは「unearth（アンアース）」です。

「unearth」とは、地面の下に埋もれていたものを掘り起こし、これまで見えなかった価値や関係性を発見し、あらためて可視化する行為を指します。

土地の記憶、自然環境、気候変動、時間の層、人の営み――

わたしたちの暮らす地球の足もとには、なお多くの複雑なレイヤーが眠っています。

ここ、亀岡では、保津川流域の豊かな風土とともに、文化芸術を通じた地域づくりや、環境問題に向き合う先進的な取り組みが重ねられてきました。設置場所となる京都・亀岡保津川公園は、古くから畔(あぜ)のかたちが残され、農地として稲作もおこなわれてきた歴史があります。また、絶滅危惧種であるアユモドキが生息することでも知られています。

本公募では、この土地を舞台に、わたしたちの暮らしを支える環境や記憶、あるいは日常の中で見過ごされてきた価値や問いをすくい上げ、未来へと芽吹く表現（Sprout）として立ち上げる野外アート作品を、広く募集します。

*「全国都市緑化フェア in 京都丹波」

開催期間：2026年9月18日（金）～11月8日（日）※この期間が作品設置期間となります

詳細はホームページをご覧ください <https://kyototamba-fair.jp/>

主催：亀岡市、かめおか霧の芸術祭実行委員会

企画・制作：Twelve Inc.

プログラム・ディレクター：野田智子（Twelve Inc. / かめおか霧の芸術祭）

プログラム・コーディネーター：山口麻里菜（Twelve Inc.）

グラフィックデザイン：三宅航太郎（MAA）

募集部門・選出数

一般部門：3 作品

学生部門：4 作品

選考プロセス

1 次選考：書類選考にて、2 次選考に進む応募者を事務局で選定します。

2 次選考：審査会による面接を行い、各部門計 7 作品を決定します。

審査のポイント

- ・テーマを独自に解釈した表現ができているか
- ・対象地に適した提案ができているか
- ・実現可能性が高いか

※詳細は「05 応募規定」をご覧ください

※2 次選考の詳細については、1 次選考通過者に向けてご連絡いたします

※2 次選考の審査会は亀岡市役所で開催予定です

2026 年

2 月 09 日（月） 公募開始
2 月 21 日（土） 現地見学会①（要申込）
3 月 07 日（土） 現地見学会②（要申込）
3 月 10 日（火） 質疑締め切り 17:00 まで
3 月 16 日（月） 質疑への回答公開（ウェブサイトで公開）
4 月 05 日（日） 公募締め切り 17:00 まで
4 月 11 日（土） 1 次選考結果通知
4 月 19 日（日） 2 次選考・審査会（応募者は対面またはオンライン参加）
4 月 22 日（水） 決定・通知
5 月～8 月 制作期間 * 現地にて対面打ち合わせを行う
8 月 31 日（月）～9 月 13 日（日） 搬入・設置期間
9 月 18 日（金）～11 月 8 日（日） 緑化フェア開催期間
11 月 9 日（月）～11 月 23 日（月・祝） 撤収期間

※記載のスケジュールは、状況により変更となる場合があります

ゲスト審査員

会田大也（山口情報芸術センター [YCAM] アーティスティックディレクター）

池田佳穂（インディペンデントキュレーター）

審査員

桂川孝裕（亀岡市長）

松井利夫（かめおか霧の芸術祭 総合プロデューサー / 滋賀県立陶芸の森館長 / 京都芸術大学名誉教授）

野田智子（Art Sprout ディレクター / Nadegata Instant Party）

オブザーバー

青木一将（アート・インストレーター）

ゲスト審査員・プロフィール

会田大也（Aida Daiya）

ミュージアム・エデュケーター。ミュージアムにおけるリテラシー教育や美術教育、地域プロジェクト、企業における人材開発等の分野で、ワークショップやファシリテーションの手法を用いて「学校の外の教育」を実践してきた。東京大学大学院 GCL 特任助教、あいちトリエンナーレキュレーター（ラーニング）などを経て、2019 年より山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課長。



池田佳穂（Ikeda Kaho）

インディペンデント・キュレーター。東南アジアのアート・コレクティブ、カルチュラル・アクティビズムなどをリサーチ。展覧会とラーニングプログラムを水平的に扱う企画形式に関心を持つ。山中 suplex の共同プログラムディレクターに加え、アートセンター BUG、T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO、BENTEN などでもキュレーターを務める。



Photo: Shingo Kanagawa

オブザーバー・プロフィール

青木一将（Aoki Kazumasa）

アート・インストレーター。現代美術のインストレーターチーム「ミラクルファクトリー」代表。あいちトリエンナーレ（国際芸術祭「あいち」）や美術館の展覧会などで作品を効果的に見せるための展示設営や、アーティストの作品の構想を可視化・具現化するための制作補助などを行っている。アイデアをカタチにする、クリエイティビティーと高い技術力とパワーを持つプロフェッショナル集団。



Photo: Kuniyasu Kojima

[応募規定]

<全体：アート作品に関する事項>

- 作品は 10m×10m のスクエア型の敷地内に設置します。
- 3 ヶ月間の展示期間に耐えうる安全性と強度を持った作品を制作してください。
- 8/31～9/13 の搬入・設置期間中に作品の設置を完了してください。
- 作品を設置する区画（1 区画 1 組）は、企画側にて指定します。
- 制作費には、①5～8 月に現地での打ち合わせ②設営③撤去の最低 3 回分の旅費交通費を含んでください。
- 展示期間中に作品の破損等が生じた場合は、応募者が修繕対応のため来場し、速やかに対応してください。（そのための経費および旅費交通費の追加支払いはありません）
- 作品タイトルおよび作家プロフィール等の提出依頼には、速やかに対応してください。
- 展示期間中の関連イベント（未定）などは、可能な範囲で協力的に参加してください。
- 作品の種類は、屋外彫刻作品のほか、展示期間中に変化する作品、上演型作品、参加型作品等の提案も可能とします。
- 作品の素材については、SDGs 未来都市・亀岡におけるアップサイクル等の取り組みを理解したうえで、廃材の活用を取り入れることや、緑化フェアのコンセプトに沿った自然素材の活用を歓迎します。
- 作品の展示環境は屋外です。電源・水道等の設備はありません。
- 応募は、1 人または 1 チームにつき 1 作品を原則とします。
- 応募に際して発生する制作費（撤去費用も含む）、送料、税金、保険料等の費用、ならびに 2 次選考会場への交通費・宿泊費等、本コンペに関する一切の費用は応募者の負担とします。
- 作品選考完了後は、採択された作品プランの実現に向けて、プログラム・ディレクターおよびコーディネーターがサポートを行います。制作・設営にあたっては、定期的な打ち合わせ等を行い、協議のうえ進めていただきます。

<全体：契約に関する事項>

- 2 次選考の結果通知後に採択者とかめおか霧の芸術祭実行委員会の間で業務委託契約を締結します。
- 事務局とのコミュニケーションは全て日本語とします。
- 制作費は、所得税法その他関係法令の規定に基づき、所定の源泉所得税額を控除のうえ、採択者に支払うものとします。
- 制作費は委託料の半額を上限に前金として請求可能です。残金は、作品撤収後に設置場所の原状回復が確認された後に支払います。

<一般部門>

- 3組を選出します。
- 1組につき200万円（税込）を上限として制作に要した費用を支払います。
- 応募対象は18歳以上です。
- 所属や国籍を問わない個人またはチームが応募可能とします。

<学生部門>

- 4組を選出します。
- 1組につき100万円（税込）を上限として制作に要した費用を支払います。
- 2026年4月1日時点で学生である方（所属機関の種別は問わない）による、個人または学生のみで構成されたチームが応募可能とします。
- 未成年者は保護者の同意書（様式3）の提出が必要です。
- 応募時点で必ず全メンバーの保護者の同意を得ていることを前提とします。
- 未成年の個人または未成年者のみで構成されるチームの場合、応募時には代表者1名分の同意書を提出し、採択の決定後は、すみやかにメンバー全員分の同意書を提出してください。

[応募書類]

応募には、①応募フォームへの記入と、フォーム内から②③の書類を提出してください

①応募フォーム



②作品プラン提案書

- 様式1：作品タイトル、コンセプト、制作方法、素材、サイズ、制作スケジュールを明確に記載し、写真やイメージ等含め、A4 サイズで合計 10 ページ以内にまとめて提出すること（会期中に運営を伴う場合は、運営方法、運営体制をできるだけ詳細に明記すること）
- 形式自由：ドローイングや模型写真、スケッチ、図などの本作品の企画書
- 形式自由：ポートフォリオ（これまでの参考作品事例、過去作品資料など）* 任意

③予算書

- 様式2：作品制作に必要な制作費の実費を試算し、交通費、滞在費、人件費、運搬費を予算書に記載すること（飲食費は対象となりません）

④保護者同意書

- 様式3（「学生部門」のうち、未成年の個人または未成年のみのチームの場合に代表者 1 名分の保護者同意書を提出してください）



※応募書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください

※応募は電子データでのみ受け付けます。郵送対応等はしていません

[応募方法]

2026 年 4 月 5 日（日）17:00（日本時間）までに①応募フォームに入力・送信すること

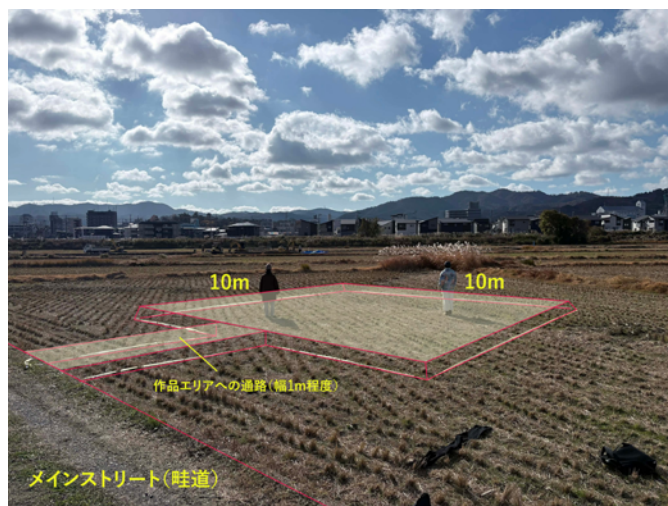
締め切り：4 月 5 日（日）17:00（日本時間）まで

作品設置会場について

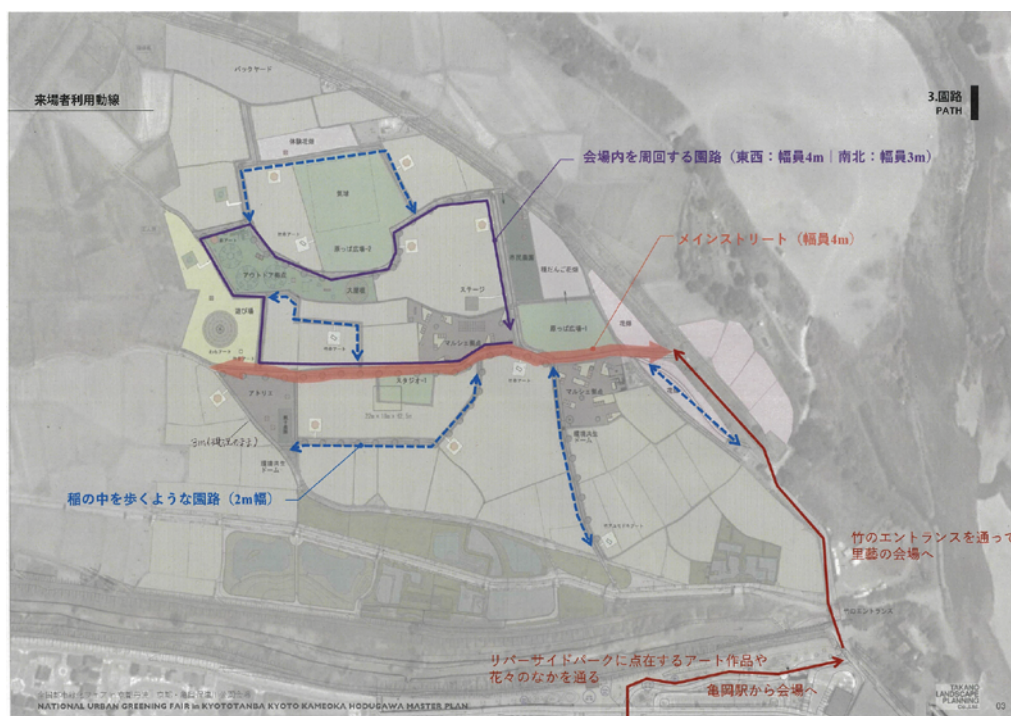
設置会場となる京都・亀岡保津川公園は、日本の原風景ともいえる農村・里山など緑豊かな自然が広がっています。古くから畔（あぜ）のかたちが残され、農地として稲作もおこなわれてきました。また、公園内には絶滅危惧種のアユモドキが生息しています。展示期間中は緑化フェアが掲げる『食農と環境そしてアートで輝く「京都丹波」』というテーマのもと、公園内全域には草花が咲き、竹を使ったアート作品、建築家やアーティストが制作した農小屋などが設置され、マルシェや農園、原っぱ広場などでイベントも多く開催されます。さまざまな人が行き交い、交流する場としてひらかれています。



- 1区画のサイズは、畔道と同じ高さまで盛り土された 10m×10m の正方形です。
- 畔道から通路幅約 1m、長さ約 5m の箇所には 1 区画があります。
- 区画の下地は「土」「クローバー」「ウッドチップ」から選ぶことができます。事務局と協議のうえ、決定します。
- 展示会場は公園であるため、安全面には十分に配慮が必要です。展示期間中は平日・土日祝に関わらず 10 時から 16 時まで開場しています。



- 公園内の通路の幅員は、メインストリートは 4m、それ以外は 2m 又は 3m です。
- 2m の道は 2t トラックの乗り入れは難しいので、運搬車両は軽トラック等をお願いします。また、作品の設置区画までの通路(約 5m)は幅員が 1m のため、車の乗り入れはできません。
- 搬入期間の前に展示会場への自主的な見学は原則できません。現地を確認したい場合は現地見学会へご参加ください。



現地見学会（要申込み）

会場の様子や作品の設置する場所をご案内します。

第1回：2026年2月21日（土）13:30-15:00

第2回：2026年3月7日（土）13:30-15:00

集合場所：サーキュラーかめおかラボ（亀岡市保津町下中島 59-1）

【申込みはこちら】



<https://forms.gle/fNDSR1fnHongCbiY8>

締め切り：第1回 | 2026年2月20日（金）17:00 まで

第2回 | 2026年3月6日（金）17:00 まで

質疑がある場合は、質疑フォームにて2026年3月10日(火)17:00までに入力してください。個別の電話対応、メール対応は受付できません。回答は、2026年3月16日(月)に全ての質疑に対する回答を、かめおか霧の芸術祭のウェブサイト「野外アート作品コンペ Art Sprout」詳細ページで公開いたします。

【質疑フォーム】



<https://forms.gle/tsL4C8CGTvhcz3Yr9>

締め切り：2026年3月10日（火）17:00 まで

本プロジェクトにおける応募作品および採用作品の権利関係について、以下の通り定めます。応募者は、応募の時点で本規定に同意したものとみなします。

1. 著作権の帰属

応募作品および採用作品の著作権は、原則として応募者（制作者）に帰属します。

2. 主催者による利用権（広報・記録）

亀岡市及びかめおか霧の芸術祭実行委員会は、本事業の広報、記録、報告及びこれに関連する活動（Web サイト、SNS、パンフレット、報告書、メディアへの資料提供等）において、応募作品の画像、映像、図面及び作品概要等の資料を、無償かつ期間・地域の制限なく使用できるものとします。また、必要に応じて画像等のトリミングやサイズ変更を行うことができるものとします。

3. 瑕疵（かし）担保と免責

緑化フェア会期中の補修・修繕は制作者が行うものとします（会期中であっても安全確保その他の事由により、必要に応じて主催者が行うことがあります）。ただし、緑化フェア会期中に自然災害その他の不可抗力により作品が破損したときは、主催者と制作者が協議し、別途費用により制作者に修繕いただくことがあります。

4. 作品の撤去について

作品の設置期間終了後、11月9日から11月23日までの間に、制作者の責任において速やかに撤去を行っていただきます。撤去日程については、主催者と協議のうえ決定するものとします。

5. 収集した情報の取り扱いについて

収集した個人情報は、本コンペの運営目的のみに使用します。